



9月25日に開催された広告セミナーで挨拶を行う松本通崇会長

本年度、新たに取り組みましたのが、「ホームページの作成」と「くまもと経済への広告出稿」です。

私たちは情報を発信することを得意とする集団ではありますが、これまでの広報活動からさらに大きく、そして広く周知し、当協会の認知と理解を訴

求することが重要であると考え、本年実施をさせていただきました。この効果は、多方面から当協会への認知が高まるものではないかと大いに期待しています。

先日開催されました広告セミナーにおきまして、参加して下さった大学生からレポートを提出していただきました。近年の広告文化の普及を狙い、協会の方も参加していただいております。セミナー終了後にご意見を頂戴するのですが、ソーシャルメディアへの関心が高く、レポートの内容もしっかりと

ただ、私なりにこれからの社会に不安感を抱いていることがあります。これからはますますソーシャルメディアが浸透し、それぞれが自ずと情報を発信し、社会への影響を与えていくことになりそうです。しかし、ここまでインターネットが普及し、検索した情報を鵜呑みにすることこそ、怖いものはありません。その情報には、誰も責任を持ってくれ

ないからです。情報化社会の中に生きる我々は、これからは「リテラシー力」を持つべきなのかもしれません。我々の日常生活の中でも気軽に検索し、そして情報を得る。確かに手段としては便利になりました。しかし、そこには裏付けのある、正しい情報なのかどうか、しっかりと見極める力が必要になります。情報を発信する私たちにとって、情報の大切さを再度認識し、インターネットとうまく融合していくことで、これからの将来に新たな道が切り開かれることではないかと。

「コンビニ化」する現代、私たちが「コミュニケーション文化」を見直し、そしてより啓発すべきなのかもしれません。

去る6月には「広告と人権」と題した実務者セミナーも開催。約100名の参加を得た

「平均ラウドネス値」がバラバラ

「平均ラウドネス値」を国際標準の「-24LKFS」に揃えましょう。

**加盟企業**  
 朝日広告社熊本支社  
 アド・コム  
 アド・スーパー・ブレイク  
 アドファータ  
 九州中央エージェンシー  
 共栄コア

**協同プランニング**  
 熊日広告社  
 熊本エージェンシー  
 熊本広告堂  
 サンカラー  
 サンコーコミュニケーションズ

**ジャンクプランニング**  
 総合企画  
 ダイヤ企画  
 TMプランニング  
 電通九州熊本支社  
 西広熊本支社

西日本新聞広告社熊本ネットワーク  
 マックスファイブ  
 メディックス  
 ゆうプランニング  
 読売広告社西部熊本支社 (五十音順)

**賛助会員**  
 熊本日日新聞社  
 熊本放送

テレビ熊本  
 熊本県民テレビ

熊本朝日放送  
 エフエム熊本

熊本リビング新聞社  
 熊本シティエフエム

# 2012年10月1日からスタート！ 「ラウドネス LKFS」

民放連より

## テレビ放送における 音声レベル運用基準に関する 新しいルールの運用が 始まりました

テレビから流れてくる音が極端に大きかったり、逆に小さすぎたり。こうした音量のばらつきをなくし、視聴者に落ち着いてテレビを楽しんでもらうために、10月1日より「TO32「テレビ放送における音声レベル運用基準」、が導入されました。これまで放送音声の調整にはVUメーターを使っていましたが、それだけでは番組やCMの音量感を揃えることができません。そこで、民放連では人の感じる音の大きさを数値で示す「ラウドネス」という新しい「ものさし」を使って、「平均ラウドネス値」を統一させるための取り組みに着手したのです。具体的には、「平均ラウドネス値」を国際基準である「-24LKFS」に統一できるよう、ラウドネスメーターを使って測定することになります。よりよい音でテレビを楽しんでもらうために、皆様のご協力をお願い致します。



■民放連「ラウドネス関連」のページ  
<http://www.nab.or.jp/loudness/>  
 ■日本ラウドネスメーター協議会  
<http://www.j-lma.org>

**2012年10月1日** わかりやすく・新しいルール TO32 導入開始 VU→VU+「ラウドネス LKFS」

今の放送音声の現状…  
 下の図をご覧ください。残念ながらこれが今の放送音声の現状です。これまではVUメーターを使っていましたが、それだけでは番組やCMの音量感を揃えられません。

そこで登場したのが「ラウドネスメーター」！  
 民放連では人の感じる音の大きさを数値で表す「ラウドネス」という新しい「ものさし」に着目し、TO32「テレビ放送における音声レベル運用基準」という新しいルールを作りました。

「平均ラウドネス値」を国際標準の「-24LKFS」に揃えましょう。

「平均ラウドネス値」がバラバラ → 「平均ラウドネス値」が統一されてとても聞きやすい！

**ラウドネスメーターを用いて「平均ラウドネス値」を測りましょう！**

測定結果は「ひとつの値」として算出

Step 1. ラウドネスメーター(ARIB TR-B32 準拠)を用意しましょう。  
 Step 2. 番組、CMの「平均ラウドネス値」を測りましょう。  
 Step 3. 納品の添付書類に測定値を記入してください。

ラウドネスメーターは区間の平均値を測定するため、「Start」/「Pause」/「Stop」のボタンがあります。番組やCMの始めで「Start」し、終わりで「Stop」してください。

適正な音量で視聴者に優しい放送を！民放連からのお願いです。

